

書類作成上の注意事項

1. 履歴書

- (1) 学歴は、高等学校卒業時以降について記載してください。
- (2) 認定医、専門医、指導医等（取得年月日を含め）を記載してください。

2. 業績目録

- (1) **令和5年12月31日までに掲載または受理**されたものを記載してください。
なお印刷中の論文については、掲載受理の証明書を添付してください。
- (2) 業績区分は、著書、原著（和文）、原著（英文）、症例報告（和文）、症例報告（英文）、総説（和文）、総説（英文）、学会発表（国内）、学会発表（国際）の順に別葉とし、新しいものから発表年代順に下記の要領で記載してください。
著書…著者名、書名（題目）、初頁～終頁、発行所、西暦年。
原著…著者名、題目、発表誌名、巻、初頁～終頁、西暦年。
総説…著者名、題目、発表誌名、巻、初頁～終頁、西暦年。
その他…著者名、題目、発表誌名、巻、初頁～終頁、西暦年。
学会発表(訥)…発表者名、演題名、学会名、西暦年。
学会発表(臨)…発表者名、演題名、学会名（開催国）、西暦年。
知的財産（特許等）
- (3) 著者名、発表者名は掲載順に記入し、応募者名にアンダーラインを引いてください。
- (4) 著書は、単著、共著、編著、訳著、分担執筆に分け記載してください。
- (5) 原著は、査読制度のある雑誌に掲載された論文に限ります。
- (6) その他には、プロシーディングを含めて記載してください。
- (7) インパクトファクター（IF）がある論文については、記載例にならって **2022年**のインパクトファクターをもとに末尾に記載してください。
また、応募者が corresponding author または equal contributor と記載されている場合は、その旨を明記してください。
- (8) 学会発表（国内）は、全国レベルについて、特別講演、教育講演、シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップに分類し、この順で記載してください。
- (9) 学会発表（国際）は、特別講演、教育講演、シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ、一般演題に分類し、この順で記載してください。
- (10) 原著、症例報告、総説、その他の中から、主要論文10編に○印を、この内、特に重要な論文5編に◎印を付けてください。
- (11) 主要論文10編について、論文別刷（カラーコピー可）を各10部送付願います。

3. 研究費の獲得状況（文部科学省科学研究費等）

官民財団等から受けたものを文部科学省、その他の省庁及び民間財団ごとに新しいものから年代順に記載してください。

4. 作成にあたって、様式は本学医学部ホームページ等から入手してください。

なお、全ての内容が表示されるように注意して印刷するとともに、提出書類(1)～(7)、(9)については、紙媒体と電子ファイル（(1)・(3)～(7)はWordの元データ、(2)はWordとExcelの元データ、(9)はPDF）を「USBメモリ」で提出してください。履歴書の押印は紙媒体だけで結構です。

提出書類(2)業績目録は、Word様式とExcel様式の両方を作成し、Word様式は紙媒体と電子ファイル、Excel様式は電子ファイルのみを提出してください。

(次ページに記載例あり)

原著（英文）

- 1 Yamaguchi T, ○○○○○, ○○○○○, ○○○○○, ○○○○○, ○○○○○, ○○○○○
○, ○○○○○, ○○○○○.

RPA assists HSF1 access to nucleosomal DNA by recruiting histone chaperone FACT.

Mol. Cell 48, 182-194, 2016. (IF 14.464)

（一行余白）

2

総説（和文）

- 1 山口太郎, ○○○○, ○○○○

熱ショック因子によるプロテオスタシス制御と疾患

細胞工学 33, 706-710, 2016.

学会発表（国内）

教育講演

- 1 山口太郎

熱ショック応答とがん

第71回日本癌学会総会，札幌市，2016.

学会発表（国際）

シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ

- 1 Yamaguchi T, ○○○○○.

A new mechanism of mammalian HSF1-mediated chromatin opening.

Gordon Research Conference on “Stress Proteins in Growth, Development & Disease”, Lucca,
Italy, 2016. (Invited speaker)